

アメリカ合衆国大統領  
バラク・フセイン・オバマ 殿

## アメリカの新型核実験に断固抗議する

新聞報道等によれば、貴国は、昨年11月と今年3月の2回、新型の核実験を行ったことが判明した。

われわれは、貴国が行った2回の新型核実験に断固抗議する。

貴職は、一昨年4月、プラハで、核兵器を使用した唯一の国として、「道義的責任がある」ことを認め「核兵器のない世界」のために行動する、と宣言した。しかし、昨年9月の臨界前核実験に続く2回の新型核実験は、広島・長崎の被爆者をはじめ、核兵器全面禁止を願う世界中の人びとに大きな失望と怒りをもたらした。

昨年のNPT再検討会議では、「核廃絶の明確な約束」を再確認し、さらに秋の国連総会では、6か国から、同会議の最終合意に基づき、「核兵器禁止条約の交渉開始」を求める発言がされ、核兵器禁止のための国際的な枠組みづくりへの模索が始まったところである。全加盟国によって確認されたNPT再検討会議の合意を前進させる責任は、当然貴国自身にもあり、これを反故にすることはできない。

こうした国際的な努力に背を向け、なお核兵器の保有とさらなる開発に固執する貴国の姿勢は、絶対に許すことができない。

折しも、日本では3月11日の東日本大震災・津波被災とそれによって引き起こされた東電福島原発の爆発・炉心溶融事故で放射性物質が大量に大気中に飛散し、住民が「見えない敵」に翻弄され、政府の場当たりの対応と相俟って、あらためて放射線被害がもたらす事態の深刻さに怒りが頂点に達している。

われわれは、貴職が、広島・長崎の被爆の実相、被爆者の66年にわたる苦難を真摯に受け止め、今後一切核実験を行わないことと、あらたな核開発計画を放棄すること、そして一刻も早い核兵器廃絶のために積極的なイニシアチブを発揮するよう強く求める。

2011年5月23日

原水爆禁止広島県協議会

広島県原爆被害者団体協議会

アメリカの新型核実験に抗議する座り込み行動参加者一同

連絡先：原水爆禁止広島県協議会

〒732-0052 広島市東区光町2丁目9-24-202

電話 082-568-5530 F A X 082-568-5536

アメリカ合衆国大統領  
バラク・フセイン・オバマ殿

### 抗議文の送付について

昨年11月と今年3月、貴国が新型核実験を実施したと報道されたことに対し、私たちは本日、広島市の平和都市記念碑前で抗議の座り込みを行い、別紙のような抗議文を採択したので、送付します。

2011年5月23日

原水爆禁止広島県協議会  
筆頭代表理事 大森正信